

## ハンディ型放射線量測定器

## KURAMA – mini

空間線量測定

エネルギースペクトル測定

高機能サーベイメータ

KURAMAがハンディ型の計測器に！

エネルギースペクトル表示機能搭載  
⇒ 核種判別が可能です。0.001 $\mu$ Sv/h~300 $\mu$ Sv/hの高レンジ計測!!

測定結果表示例

本製品の開発は京都大学原子炉実験所様のご協力を頂いております。また、本紙に記載した内容は全て開発中のものであり、予告なく変更される場合があります。

## ■ 製品概要

従来のKURAMAシリーズの技術を応用した、周辺環境の空間線量率を測定できるハンディタイプの放射線量測定器です。測定した線量の推移チャートや現在値表示のほか、スペクトル分布グラフの表示や特定の帯域の選択などが可能です。最大300 $\mu$ Sv/hの範囲まで測定できるほか、スペクトル分布の確認による核種判別にも対応します。

## ■ 主な仕様

項目	標準仕様	項目	標準仕様
動作仕様	シンチレータ CsI (TI) 38mm × 38mm × 25mm	サンプリング時間	1~60秒設定可能
検出素子	MPPC(マルチピクセルフォトンカウンタ)	一般仕様	外形寸法 (ハンドル部除く) 114(W) × 245(D) × 143(H) mm (114(W) × 231(D) × 110(H) mm)
計数効率	Cs137 : 0.01 $\mu$ Sv/hにおいて400cpm以上	保護性能	防滴仕様
エネルギー範囲	30keV~2MeV	電源	充電式 (充電中も動作可) AC100V、DC12V対応の 専用充電アダプタを使用
エネルギー分解能	8.5% セシウム137 662keV	外部端子	USB, LAN GPSアンテナ、ネットワーク接続用
測定範囲	0.001 $\mu$ Sv/h ~300 $\mu$ Sv/h		

# KURAMA-miniの特徴

ハンディ型で  
唯一

(2016年1月 当社調べ)

## エネルギースペクトル表示機能による核種判別

内蔵の大型タッチパネル液晶モニターでエネルギースペクトルのリアルタイム表示が可能です。

核種判別のために試料を持ち帰る時間が不要となりますから、その後の対応にいち早く移る事ができます。

## 高レンジ0.001 $\mu$ Sv/h~300 $\mu$ Sv/h

測定可能範囲は0.001 $\mu$ Sv/h~300 $\mu$ Sv/hの高レンジを実現しています。測定条件に関係なく1台のKURAMA-miniで対応可能です。

## データロギング機能・GPS位置測位機能



KURAMA-miniはデータロギング機能を搭載しています。

データロギングの操作はタッチパネルで簡単。測定後はパソコンへ転送し、表計算ソフト等でデータ整理が可能です。データですから、表示値の読み間違い・書き間違いの心配がありません。

加えて、KURAMA-miniにGPSアンテナを接続することで、測定データへ位置情報を記録可能です。

## KURAMAクラウドネットワーク

**KURAMA**

クラウドネットワーク

空間放射線量率GIS

KURAMA-miniはLANポートを搭載しています。

モバイルルータ(3G/LTE)を接続することで、KURAMA-II(車載タイプ)やKURAMA-m(歩行タイプ)で実績あるKURAMAクラウドネットワーク(空間放射線量率GIS)への参加が可能です。

## 仮設モニタリングポスト、車載サーベイメーターとして

KURAMAクラウドネットワークにより規模・範囲を問わない各種の測定活動に対応します。

単体でハンディ型放射線量測定器としてお使い頂けるのはもちろん、外部から電源を供給する事で、モニタリングポストや車載サーベイメーターとして連続測定が可能です。

自動車から取り外したバッテリー等を外部電源として使用でき、停電が1週間程度続く場合でもモニタリングポストを運用して頂けます。  
(バッテリーでの動作時間はバッテリー種類・充電状態により異なります)